

令和５年度第２回桑名市ブランド推進委員会 会議概要

日時・場所	令和６年３月１１日(金) １０：００～１２：００
出席者	委員： ９名 市長： １名 事務局 ブランド協議会：１名
会議次第	１ 開会 ２ 市長あいさつ ３ 話題提供 ４ 議事 (１) パブリックリレーション事業について (２) 都市再生推進法人について ５ 報告 (１) 桑名プレミアム体験 (２) 桑名スタートアップ・オープンフィールド戦略 (３) メタバース婚活・メタバース役所 ６ 閉会
概要 (主な意見)	４ 議事 (１) パブリックリレーション事業について ○世界につながる事が京都でも課題になっている。 ○プロデュースの役割、間をつなぐ人によって掲げているビジョンをもとに活動しやすくなる。 ○クリエイティブマインドがある人を受け入れることが大事。 ○チャレンジをする人が活躍する場を提供する機会の創出も必要である。 ○３か年でどこまでを目指すのか、桑名に伸び幅はどれだけあるのか長期的にはこのタイトルはいい。 ○事業の実施は証拠の積み重ねでスローガンが実体化していく。 ○働く人のムードを醸成していくことが肝要。 ○市の職員向けにも何かやってみるのもいいのではないかな。 ○コンセプトはよく、目指したいところはわかるが、ハードルは高い。 ○実現には１０年や１５年はかかるため、大人より子ども向けに展開した方が効果はあるのではないかな。 ○イングリッシュフレンドリーの考えはすごくよいが、グローバル＝英語ではない。国際化には、言語だけではなく知識が必要でいかにコミュニケーションを取るかということが重要になる。その時に、自国の、地元の歴史や文化を英語で話すことができないと、コミュニケーションを取ることができない。日本人は意見を言いたがらない人が多いように思うが、日本語で言えないことを英語で言うことは難しい。 ○外国人に住みやすい街を目指すことはとても歓迎する。ただし、外国人向けの街にするのはよくない。次の事業者はインターナショナルな感覚を持っている必要がある。 ○外国人が企画に参加することが大事で、色々な国の人が、どういう情報を求めているのか、外国人がやりたいことを吸上げてはどうか。

- 英語圏向けにと言うけれども、翻訳ソフトの技術はかなり上がっている。そういった技術の活用も考えた方がいい。
- 評価・検証のために市民がどう考えているのかなど、初める時にデータを取ってはどうか。
- わが社もグローバルをどうしていくべきか様々な点で考えている。社内に外国人がいないことが課題になっている。
- 外国人に働いてもらおうと思っても、住まいをどうするのかなど、色々と問題が生じてくる。
- 誰と誰の関係性を構築するのか？誰のためのパブリックリレーション事業なのか？必ずしも英語だけで完結するものではない。
- 今はアプリを使って多言語で話すことができるし、在住外国人が日本語を学べる機会を作ることも必要。さらに使う機会を増やしてあげる。そうすることで、学ぶことへのモチベーションになる。
- 言語はコミュニケーションを取るためのツール。前提として、何を伝えたいのかを考えないと無用なツールが増えるだけになる。こちらにどういう歴史なり文化なりがあるのか、その中から何を発信したいのか、はっきりさせておいた方がいい。
- もう少し長期ビジョンでいい。2050年に当たり前になっていればいい。手段と目的が逆転してしまっている。スタートアップと連携するのも方法の一つ。
- 中身をブラッシュアップしてきて、今後を発信していくタイミングになってきている。言葉を置き換えるだけではなく、関係性を作っていくことが重要。

(2) 都市再生推進法人について

- ブランド推進委員会がある意味で親会になって、ここで考えられ議論してることを実現するために、まちづくりを率先しないといけない。
- 都市再生推進法人によって、いかに公共空間も活用しながら、また、今まで色々な規制でできなかったようなことを、市役所とともに調整しながら進めていただくような組織になりたいと思っている。
- 都市再生推進法人に指定されたらどんどん進めていただきたい。

5 報告

(1) 桑名プレミアム体験について

- 外国人の方、そして英語での対応みたいなのを織り交ぜながらどんどん進めていただきたい。

(2) 桑名スタートアップ・オープンフィールド戦略について

- できたら夢になるが、桑名からスタートアップが出て欲しいと思うので、今すぐではないにしても応援をして欲しいし、そのために、例えば、中学生、高校生のピッチコンテストをするなど、それに対してすでにスタートアップしているところから、壁打ち的なことや、メンター的なことをしてもらうとか、応援をしていただけたらありがたい。
- 桑名商工会議所と一緒にやれるとよい。
- 英語の取組とも連携していけるとよい。

(3) メタバース婚活・メタバース役所について

- 新しい試みなのでどんどん進めていただきたい
- どんどん新しい技術が進んで、色々なことが、実現できているのがよい。